

再評価対象事業 道路関係の調書

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 <small>かさおか</small> 笠岡バイパス	事業主体	中国地方整備局											
所在地	<small>おかやま かさおか にしおおしましんでん おかやま かさおか もびら</small> 岡山県笠岡市西大島新田～岡山県笠岡市茂平													
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪市を起点として瀬戸内海沿岸の主要都市を經由し北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>笠岡バイパスは、笠岡市内の一般国道2号の交通混雑緩和及び交通安全の確保を図るとともに岡山県南部地域と広島県備後地域の連絡強化を目的とした延長7.6kmの道路であり、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成するものである。</p>													
事業着手	昭和63年度													
総事業費	約300億円	既投資額	平成14年度末まで 約70億円(進捗率23%)											
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>ア)事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>笠岡市の中心市街地を東西に横断する国道2号は、交通量が多くそのほとんどが平面交差となっていることから慢性的な交通混雑が生じている。また、笠岡港工業団地、笠岡湾干拓事業の整備や備後地区工業整備特別地域、岡山県南新産業都市の指定に伴い、新たな工業団地等の整備も進められており、更なる交通需要が見込まれるところである。</p> <p>S63 笠岡港工業団地造成完了 H2 笠岡湾干拓事業事業完成 H7 井笠地方拠点都市地域の指定 H15.4 水島港が特定重要港湾に昇格 H15 アグリスポーツ公園総合体育館完成(予定)</p>												
	イ)費用対効果分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>道路事業に要する費用</th> <th>道路整備による効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年 (総事業費 300億円) 部分供用に要した事業費 - 億円 残区間整備に必要な事業費 300億円 (現在 価値換算事業費 248億円) </td> <td> 走行時間 短縮便益 1,842 億円 走行経費 減少便益 157 億円 交通事故 減少便益 47 億円 総便益 + + = 2,046 億円(B) </td> </tr> <tr> <td> 事業費 248 億円 維持管理費 17 億円 総費用 + = 265 億円(C) </td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">費用対効果分析の結果</td> <td style="text-align: center;">B / C = 7.7</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H10.6.26 付け建設省道経発第14号通達)</td> </tr> </tbody> </table>		道路事業に要する費用	道路整備による効果	総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年 (総事業費 300億円) 部分供用に要した事業費 - 億円 残区間整備に必要な事業費 300億円 (現在 価値換算事業費 248億円)	走行時間 短縮便益 1,842 億円 走行経費 減少便益 157 億円 交通事故 減少便益 47 億円 総便益 + + = 2,046 億円(B)	事業費 248 億円 維持管理費 17 億円 総費用 + = 265 億円(C)		費用対効果分析の結果		B / C = 7.7		
道路事業に要する費用	道路整備による効果													
総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年 (総事業費 300億円) 部分供用に要した事業費 - 億円 残区間整備に必要な事業費 300億円 (現在 価値換算事業費 248億円)	走行時間 短縮便益 1,842 億円 走行経費 減少便益 157 億円 交通事故 減少便益 47 億円 総便益 + + = 2,046 億円(B)													
事業費 248 億円 維持管理費 17 億円 総費用 + = 265 億円(C)														
費用対効果分析の結果		B / C = 7.7												
		「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H10.6.26 付け建設省道経発第14号通達)												

事業名	一般国道2号 <small>かさあが</small> 笠岡バイパス	事業主体	中国地方整備局														
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>ウ)事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <table border="0"> <tr> <td>昭和63年度</td> <td>事業着手</td> </tr> <tr> <td>昭和63年 8月</td> <td>都市計画決定</td> </tr> <tr> <td>平成 2年度</td> <td>用地買収着手(干拓地内)</td> </tr> <tr> <td>平成10年度</td> <td>工事着手(干拓地内)</td> </tr> <tr> <td>平成10年度</td> <td>事業再評価</td> </tr> <tr> <td>平成11年度</td> <td>用地買収着手(西大島新田地区)</td> </tr> <tr> <td>平成14年度</td> <td>工事着手(西大島新田・入江地区)</td> </tr> </table> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p> 工事の進捗状況</p> <p> 再評価時の工事進捗率は約0%であったが、用地買収が完了した区間より整備を図り、平成14年度末までの進捗率は約19%である。</p> <p> 用地補償の状況</p> <p> 再評価時の用地進捗率は約30%であったが、平成14年度末までに約59%の用地買収を完了している。</p> <p> 関連事業の状況</p> <p> (都)西大島浜中線・・・用地買収・工事促進中(H17供用目標)</p>		昭和63年度	事業着手	昭和63年 8月	都市計画決定	平成 2年度	用地買収着手(干拓地内)	平成10年度	工事着手(干拓地内)	平成10年度	事業再評価	平成11年度	用地買収着手(西大島新田地区)	平成14年度	工事着手(西大島新田・入江地区)
昭和63年度	事業着手																
昭和63年 8月	都市計画決定																
平成 2年度	用地買収着手(干拓地内)																
平成10年度	工事着手(干拓地内)																
平成10年度	事業再評価																
平成11年度	用地買収着手(西大島新田地区)																
平成14年度	工事着手(西大島新田・入江地区)																

事業名		一般国道2号 <small>かさあか</small> 笠岡バイパス	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の進捗見込み 現在、横島・神島地区の用地買収を促進しているところであり、平成15年度末には67%の進捗となる見込みである。 ・工事の進捗見込み 現在、干拓地内の軟弱地盤対策及び西大島新田・入江地区の改良・橋梁工事を促進しているところである。また、残る区間についても用地買収が完了した地区より、順次工事に着手することとしている。 		
	コスト削減や代替案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・設計協議での了解により、高架橋（L = 330m）を盛土構造に変更しコスト削減を図った。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後ともコスト削減に努めることとしている。 ・また、 の視点による再評価より代替案を検討する必要はないと考えている。 		
今後の対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 整備効果の早期発揮を目指し、入江地区・干拓地内の平成19年度の部分暫定供用を目指し事業を推進する。 		

一般国道2号 笠岡バイパス

平成15年9月

国土交通省中国地方整備局

笠岡バイパス位置図



事業の概要



笠岡バイパス L=7.6km

里庄町

笠岡市西大島新田

笠岡市

笠岡市茂平

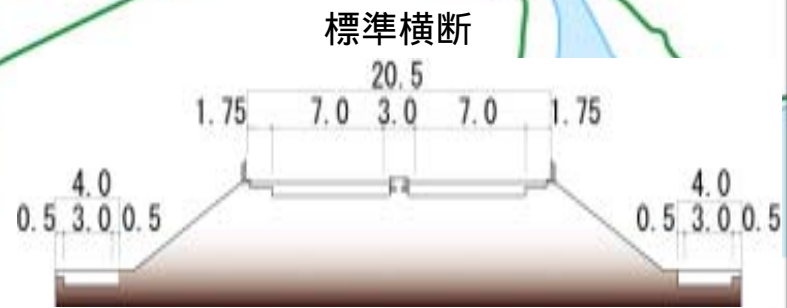
福山市

福山道路

路線概要

かさおか にしおおしましんでん
 (自) 笠岡市西大島新田
 かさおか もびら
 (至) 笠岡市茂平

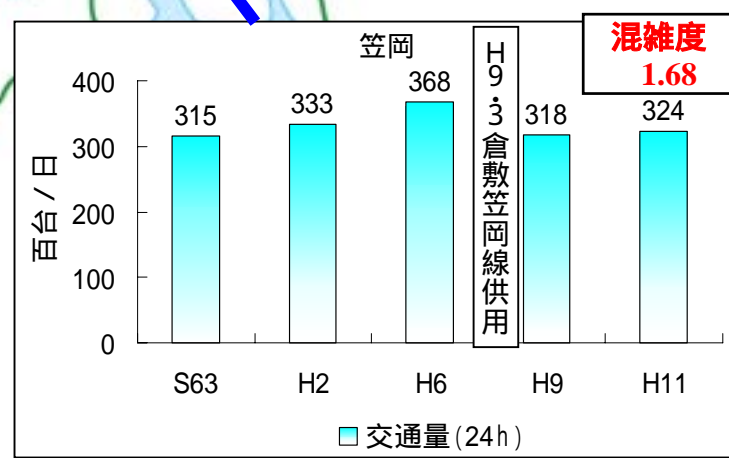
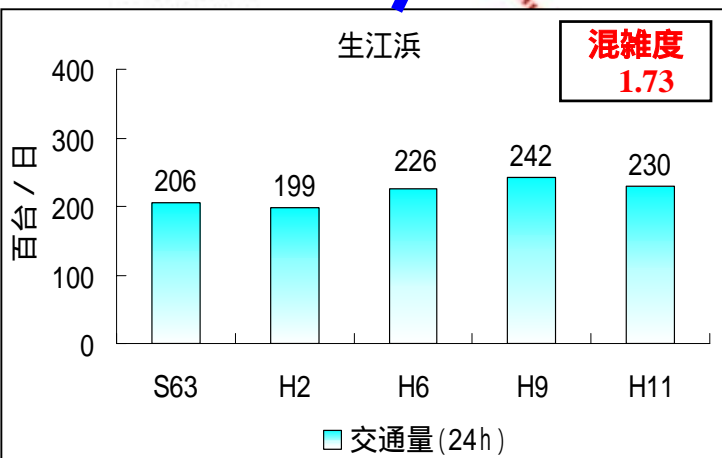
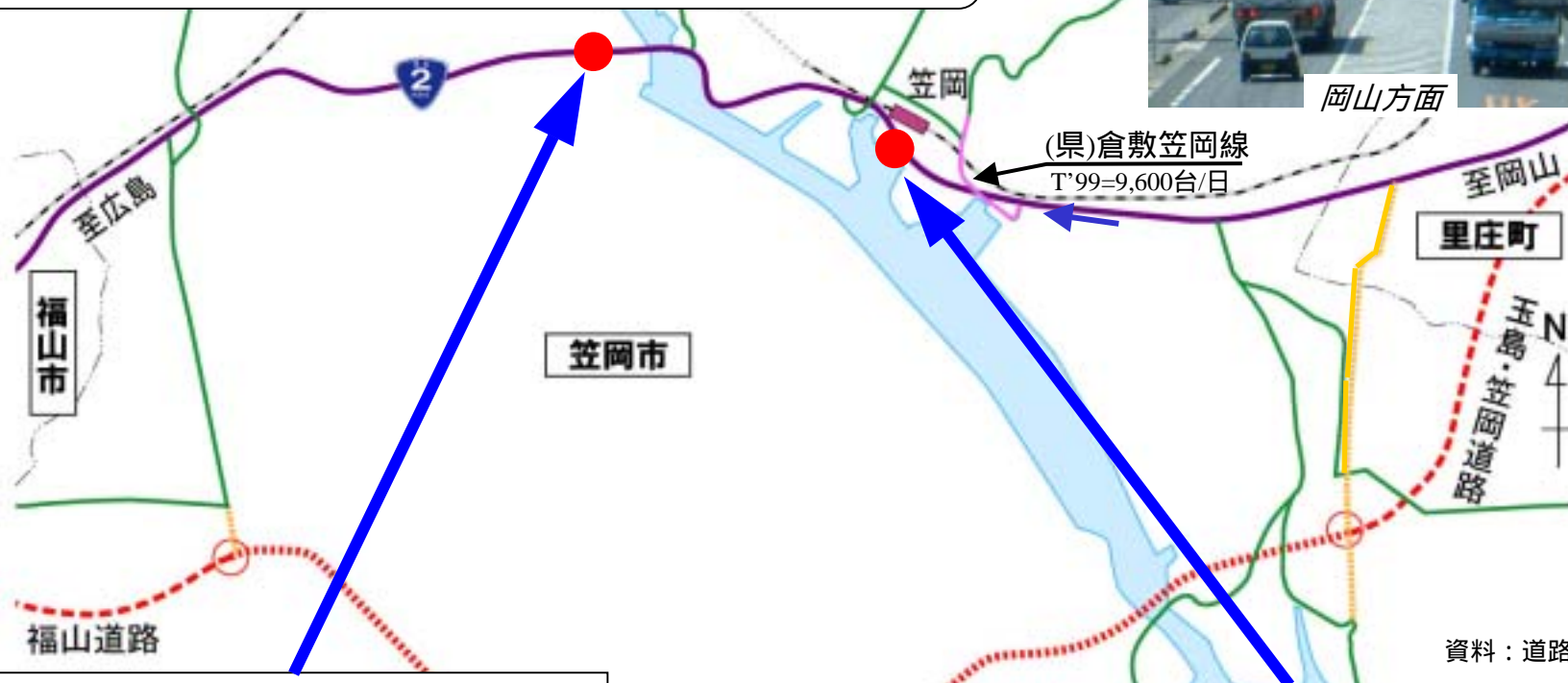
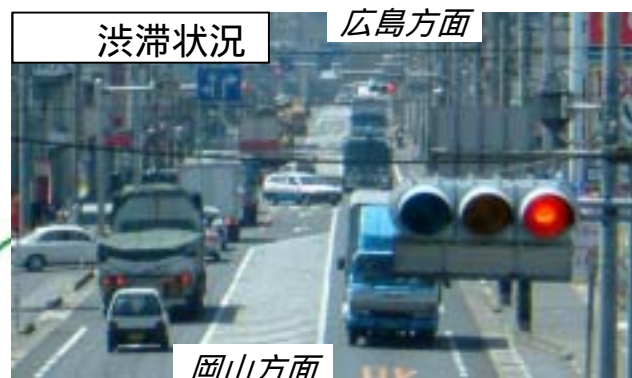
延長 7.6km
 規格 3種1級
 幅員 20.5m
 設計速度 80km/h



現道の状況

交通混雑（交通量の推移）

交通量は、20,000～37,000台/日で推移
 笠岡市内は、慢性的な**交通混雑が発生**



現道の状況

交通混雑（渋滞状況）

平成15年6月19日調査

朝夕の混雑時には、**著しい交通渋滞が発生**
渋滞長（岡山方面）西ノ浜交差点を起点に
（広島方面）金崎北交差点を起点に

約1.5km

約3.5km



整備効果

交通混雑解消（時間短縮）

笠岡バイパスの整備による時間短縮効果

